



パパ、パパがこないだピッチの外に置いてあった
ゴールによじ登ってレフェリーに文句を言ったでしょ。
あの時、僕はすごく頭にきて泣きそうになったんだ。
あんな怒り方、今まで見たことなかったよ。
たぶん、レフェリーが間違っただとは思う。
でも、僕がたとえパパの言うように「レフェリーのせいで」
試合に負けたんだとしても、そんなことはどうでもよくて、
僕はとっても楽しかったんだ。わかってほしいんだ、パパ。
僕はプレーしたい、それだけなんだよ。僕は楽しみたいんだ。
だから、僕がプレーをしているときには、
「パスしろ!」とか「シュートだ!」とか、叫び続けるのはやめて。
パパの言うことはあっているのかもしれないけど、
僕が緊張してしまうんだ。

パパ、もう一つあるんだ。
試合中にコーチが僕のことを交代させても、怒らないで。
僕は、ベンチにすわってみんながプレーしているのを見
るのだって楽しいんだよ。僕らは大勢いるし、
みんながプレーしなきゃだめでしょ。
それから、僕にサッカーシューズをきれいにする
やりかたを教えてください?
僕のなんだからパパがやってくれなくていいんだ。
僕が自分でできるようにならなきゃいけないんだよ。
それからスポーツバッグは僕が自分で持ちたいんだ。
バッグにはチームの名前が書いてあるから、
僕がサッカー選手だってまわりのみんながわかるだろ?
僕、それが好きなんだ。

パパ、お願い。試合の後にママに「今日は勝った」とか
「負けた」とかって話すのはやめて。
ママには僕がとっても楽しんでたって伝えてほしいんだ。
それから、僕がすごいシュートを決めたから勝った、って
言うのもやめてね。だって、そうじゃないんだもの。
僕がシュートを決めたのは、仲間が僕に良いパスをくれたから
なんだよ。勝ったのは、僕らのチームのゴールキーパーが
必死に相手のシュートを防いでくれて、チームの仲間が全員で
せいっぱいがんばったからなんだ。
(コーチが僕らにそう教えてくれるんだ) 怒らないでね、パパ。
こんなことを書いてしまったけど。僕、パパが大好きなんだ。
練習に遅れてしまうので、これでおしまいにするね。
練習に遅刻すると、今度の試合にはじめから出してもらえない
んだよ。じゃあね。